

ひろば いきいき広場

平成26年7月11日

No.20

枚方市子ども青少年課

電話 072-841-1375

(ダイヤルイン)

FAX 072-843-2244

アドレス:

kodosei@city.hirakata.osaka.jp

山田東校区 子どもいきいき広場

『浮沈子作り』

昨年度三月に初めてペットボトルを使った浮沈子作りに挑戦しました。子どもたちにはとても好評で、もっと作りたいという要望があったので、今年度は水に触っても平気な季節を選び六月十四日のプログラムに組み込みました。当日の参加人数は二十八名(リピーターは十一名)でした。浮沈子とはパスカルの原理を使ったおもちゃです。材料は炭酸飲料用の五〇〇ミリリットルのペットボトル、金魚形のたれびん二、ナット二、油性マジックです。子どもたちには浮沈子といっても難しいので「ペットボトル水族館を作ろう」と名付けて参加募集しました。



始める前に、今日作る水族館の手順説明をしただけで前回同様、最後までなるか子どもたちにも考えてもらうことにしました。今回はリピーターもいるので、わかっているのでも、黙っていてもいい

ました。手順としては、ペットボトルに絵を描き、金魚形のたれびんの口にはナットをはめて色を塗ります。この間、子どもたちは海の中を思い浮かべて思い思いに絵を描いていました。浮かべて思い思いに絵を描いていました。絵を描き終わった子どもから実験に入りませう。金魚形のたれびんに水を少し入れてバケツの水の中に浮かべ、どのくらい尻尾が出てくるか二匹とも確認します。ちょうど良いくらいに二匹の尻尾が出ていたらペットボトルに水を入れその中に魚を入れてペットボトルの蓋をしめます。魚の水加減が上手くできると、軽くボトルを手で押さ



平成二十六年 第一回 枚方子どもいきいき広場代表者会議

六月二十四日(火) 午後七時

先日、各実施団体の代表者の方々による会議を開催しました。多くの代表者の方々に参加をいただいたこの会議では、子ども青少年課からの説明と参加者からの質問がありました。子ども青少年課は、

- ①夏季の活動等について、
- ②活動中の事故・保険について、
- ③書類に関して、
- ④その他、情報交換について等の説明を行いました。

①②の内容は、「いきいき広場」第十九号、第二十号(本号)に掲載しています。④の情報交換については、一昨年度から行なっています。また、各校区からの情報を全体化します。また、代表者の方々からいただいた質問は、子どもいきいき広場に運営に生かさせていただきます。

今後とも意見等があればお寄せください。

氷室校区

子どもいきいき広場

氷室子どもいきいき広場は、民生委員・児童委員や福祉ボランティアを始めとする地域の方々の協力を得て、年二十三回の活動を行っています。

氷室子どもいきいき広場の活動の特徴としては、世代間交流の行事が多いことが挙げられます。「春・秋のグラウンドゴルフ」、自然あふれる里山に囲まれた



地域の特色を活かした「ハイキングや飯ごうすいさん」、最も多くの児童や幼児が参加する「もちつき大会」など、地域の方々と一緒になって活動を行っています。

七月の第一土曜日に実施する「七夕の集い」も、世代間交流の行事として行っています。二本の大竹に「夢や願いを書いた短冊」を、高齢者の方々と児童とで合計千五百枚ほど飾り付けています。校庭に立てられた大竹三本が風に揺れる姿は何度見ても壮観です。

氷室子どもいきいき広場では、地域の特色を活かした行事をいくつかが行っています。その一つが毎年六月に行う「さつまいもの植え付け」であり、秋には収穫したさつまいもを使ってのケーキづくりを楽しんでいます。また、本年は「ハイキング」の代わりに、氷室の七つの地区を訪ね歩く「春の氷室路散策」を実施しました。それぞれの地区の特徴や歴史などを、その地域のサポーターや役員さんに紹介していただき、児童らが地域のことを改めて知る良い企画になったと思っています。これらの行事や「3B体操」、「食育・クッキング」などにも地域の方々が積極的に参加し、子どもたちと一緒に楽しんでいます。

氷室子どもいきいき広場では、これからも地域の方々の協力をいただきながら、里山という地域の特色を活かした行事を中心に活動を進め、子どもたちの育成に努めています。



自然災害・台風接近時の対応について

六月から日本に近づく台風が話題になっています。今年度も台風を心配する時節になりました。

「いきいき広場」は次のように対応します。

● 自然災害や火災等が発生し、小学校が休校になった場合は、「いきいき広場」の活動は中止になります。

● 台風接近時、大阪府全域又は、東部大阪あるいは枚方市に**暴風警報**が発表された場合は、次のようになります。

① 午前七時現在、暴風警報が発表されているときは「いきいき広場」の活動は中止とします。

② 午前七時から「いきいき広場」開始時刻までの間に、暴風警報が発表された場合も活動は中止とします。なお、登校した児童については直ちに下校の措置をとりますので、児童の帰路の安全確保のため保護者の皆様には、迎えに来ていただくようお願いいたします。

③ 活動中に暴風警報が発表された場合は、「いきいき広場」を中止いたします。この場合も児童については帰路の安全確保のため保護者の皆様には、迎えにきていただくようお願いいたします。④ いずれの場合も保護者の皆様に「いきいき広場」の活動を中止することを連絡し、迎え等を依頼するなど必要な措置（その間の児童の指導等）をとることとします。しかしながら、児童の人数が多くて連絡がままならないということも起こり得ますので、保護者の皆様には、ニュース等の報道には十分に注意していただくようお願いいたします。

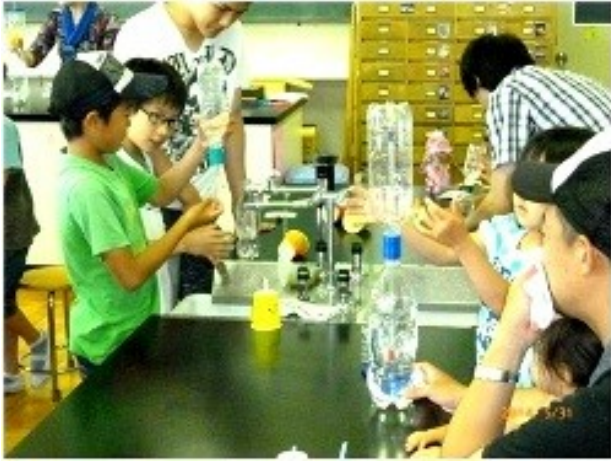
なお、いずれの場合も、その後に暴風警報が解除されても「いきいき広場」はありません。

明倫校区 子どもいきいき広場

今年度の「明倫子どもいきいき広場」は、年間三十六回の開催を予定しています。主なサークルとしては、月一回のバトン・お茶・お箸・アート同好会・科学教室が有り、その他学期に一回の料理教室、不定期開催の大縄・卓球等、多彩なメニューで活動しています。夏休みには「コミュニケーション協議会の協力のもと「ディキャンプ」、秋には日頃の成果を披露する「発表会&体験会」も実施しています。

今年子どもたちに人気なサークルは、科学教室と料理教室です。

科学教室では、身近にある物を使って様々な実験をします。低学年の参加が多いのであまり



難しい内容は出来ませんが、参加している子どもたちの目は、驚きや感動でいつもキラキラしています。

料理教室では、火を使わずに出るメニューとして、白玉団子や

クッキー・ピザ等を作ります。毎年十二月にはクリスマスケーキの飾付けをしますが、これが大人気で、多い時では五十人程の参加がありました。



昨年度まで月一回開催していたグラウンドゴルフが閉鎖となり、男の子が気軽に参加出来る運動系のサークルが無く、スタッフ一同あれこれ思案中ですが、子どもたちの声を聞きながら、今後の活動に向けて考えていきたいと思っています。



同あれこれ思案中ですが、子どもたちの声を聞きながら、今後の活動に向けて考えていきたいと思っています。

アドバイザーの贈り物

毎日暑い日が続いています。今年の「枚方子どもいきいき広場」も四カ月が過ぎようとしています。アドバイザーとして二年目、担当校区をいつも楽しく訪問させていただいています。

各校区では、一年間を見通し、創意工夫を凝らして安全管理面での対応を考えながら、子どもたちの興味関心を持つ内容を企画しプログラムを進められています。

子どもたちは、胸をわくわくさせながら参加し、よく考えられた内容に歓声を上げながら元気いっぱい楽しんでいました。

グループ活動の中で、高学年がみんなをまとめ、率先垂範して活動する場面など、さまざまな体験を通して子どもたちは普段見せない一面を見せることがあります。「いきいき広場」の活動を通して心を豊かにし、「生きる力」が育っていくことを願っています。また、保護者の参加のプログラムもありますので、保護者のみなさまの参加もお願いいたします。

「いきいき広場」は今年度も土曜日のFMひらかた「虹色スクランブル」(生放送・再放送は木曜日)で放送されています。関係者や子どもたちにインタビューなどをお願いする時は、協力をお願いいたします。

「いきいき広場」を実施するにあたり、コーディネーターや地域団体、NPOの方々の日頃の取組みに感謝しています。ありがとうございます。

今後ともよろしくお願いいたします。

アドバイザー N

樟葉西校区

子どもいきいき広場

樟葉西校区いきいき広場では、今年度も校区コミュニティが中心となり、樟葉西小PTAのふれ愛委員にも協力いただき、二十六回の様々なプログラムを用意しています。校内にある花壇や畑を利用して『草花とあそぼう』では、年間を通してお花を育てて摘んでお土産にしたり、野菜を育てて収穫し調理プログラムの材料とするなど、子どもたちにも人気のプログラムになっています。その他にも工作やバレー教室など、たくさんさんのプログラムがあり、皆さんに楽しんでもらっています。

今回ご紹介するのは、初めての試みの『心肺蘇生法を学ぼう』です。現在、年間約六万人の方が心臓突然死で亡くなっており、心停止発生の七割は自宅で起きています。心肺蘇生法は大人子どもにかかわらず全ての人が知っておくべき知識だということ事で、今回は児童にもわかりやすく、講師の先生が説明してくださり、胸骨圧迫の練習では一人一人が熱心に行っていました。

講習後、学校から歩いて



して、一一九番してから出動まで、どれだけの時間がかかるか実際にやっていたら、救急隊員が到着するまで、周りの人が救命する事の大切さを学びました。本日学んだ事をきっかけに、継続的に講習会に参加してくれたらいいなと思います。



五分程の所にある消防署に出向き、署員の方にお話をさせていただきました。

光化学スモッグについて

光化学スモッグは、日差しが強い、気温が高い、風の弱い日に発生しやすくなります。特に遠くの山や建物がいともより見えにくいなど、もやのかかったような視界の悪い日には十分注意してください。

なお、光化学スモッグ予報・注意報の発令は、五月から九月の夏期に集中して発生しています。

☆光化学スモッグ予報・注意報が発令された時には

- ・屋外での激しい運動や水泳は避け、屋内へ入ってください。
- ・目がチカチカしたり、のどが痛くなったときには、洗眼、うがいをしてしつぱらく安静にしましょう。

各地で食中毒が発生しています。

この夏も下痢や腹痛を訴える集団食中毒や細菌による食中毒が各地で発生しているのは皆さんご存じのとおりです。食中毒は一年中発生していますが、暑さが続くこの時期は、食中毒の原因となる細菌の増殖がまだまだ活発なため、食中毒が発生しやすい状態です。特に注意したいのが、鶏肉や牛肉などに付着する「カンピロバクター」や「腸管出血性大腸菌O157」などの細菌による食中毒です。これらの食中毒を防ぎ安全に食べるため、次のこと等に注意してください。

お弁当は温度が上がることで食中毒菌が増殖し、食中毒がおきる原因となります。お弁当には傷みにくいものを入れてください。そして、食べる前には必ず手を洗いましょう。また、暑さが続くこの時期では、疲れがたまりやすく体力が落ち、食中毒の原因になる病原体や毒素への抵抗力が弱まりやすくなっています。バランスの良い食事と十分な睡眠を取り、普段から抵抗力を付けておくことも大切です。

編集後記

六月に梅雨入りした後雨の降るときと暑いときが交互にやってきました。どちらもいきいき広場には辛いものですが、そこは元気ないいきいき広場です。場所をグラウンドから体育館に移して楽しく活動されている姿は頼もしくもあります。しかし、用心をしすぎてはなりません。身体に気をつけ、食べ物に気をつけてより元気に活動されることを願っています。

また、いきいき広場で保護者の皆様をよく見かけるようになりまし。子どもたちと楽しく活動されている姿は微笑ましく感じます。皆様方もどんどん参加して土曜日のひと時を子どもたちと有意義に過ごしてください。お待ちしております。

担当 U